

広報 いんざい

5.1

No. 662
平成22年
(2010)

■毎月2回 1日・15日発行
■発行 印西市 ■編集 秘書広報課広報広聴班
■〒270-1396 千葉県印西市大森2364-2
☎0476④5111(代) FAX0476④7242
■ホームページアドレス <http://www.city.inzai.chiba.jp/>
■電子メールアドレス home@ml.city.inzai.chiba.jp

- 主** ◆情報公開制度・個人情報保護制度…2
な ◆生涯学習まちづくり出前講座…3
内 ◆平成22年度の環境家計簿…3,4
容 ◆5月15日(土)、16日(日)は印旛支所・本荳ファミリア館の休日開庁を中止…7

印西市民憲章

わたくしたちの印西は、清らかな利根の流れ、豊かな緑、コスモスの咲きみだれる美しいまちです。

わたくしたちは、先人の築いた歴史と伝統を受け継ぎながら、平和と繁栄をめざして、よりよいまちづくりのためにこの憲章を定めます。

- 1 わたくしたちは 自然を愛し 清潔で 住みよいまちをつくりましょう
- 1 わたくしたちは きまりを守り 互いに助けあい 明るいまちをつくりましょう
- 1 わたくしたちは 教養を高め 美しい文化のまちをつくりましょう
- 1 わたくしたちは 老人と子どもを大切に しあわせなまちをつくりましょう
- 1 わたくしたちは 健康で 活力のある豊かなまちをつくりましょう



▲市の花
コスモス

▶市の木
クロマツ

印西市民憲章・

市の花・市の木

市民憲章等検討委員会を設置

3月23日に新「印西市」が誕生したところで、みなさんは、印西市の市民憲章・市の花・市の木をご存知ですか。これらの事項は、合併協議の中で新市において調整する必要があります。そこで、市では、市民憲章・市の花・市の木について検討する市民憲章等検討委員会を設置し、その委員を募集します。

印西市民憲章：昭和63年4月に町民憲章として制定したものを、平成8年の市制施行時に市民憲章としました。この憲章は住民のみなさんから文案を募り、それを基に当時の制定委員会で検討したもので、住民の自主的な実践目標となるよう、誰もが理解でき親しみがもてるようにすることを心がけ、定められたものです。なお、前文と5カ条の本文とに分けて、構成されています。

市の花「コスモス」：昭和59年11月に指定されました。当時、印西町30周年を記念して広く住民のみなさんから町の花を募ったところ、最も応募が多かった「コスモス」に決まりました。市の木「クロマツ」：昭和46年3月に指定。昭和48年に開催された千葉国体の記念事業として、県下の市町村がそれぞれの木を決めることとなり、当時の選定委員会が4種類の候補を選定。そして、住民のみなさんの投票によって一番多かった「クロマツ」に決定しました。旧印旛村の花：平成2年11月に「やまゆり」を指定。旧印旛村の木：昭和46年3月に「大王松」を指定。旧本荳村の花：平成7年4月に「スイセン」を指定。旧本荳村の木：昭和45年11月に「モクセイ」を指定。



旧印旛村の花
やまゆり

旧本荳村の花
スイセン

旧印旛村の木
大王松

旧本荳村の木
モクセイ

第6回ら・ら・らスキー (親子ふれあいスキー教室)

印西市体育指導委員連絡協議会協力の下、1月30日・

31日(一泊二日)の「第6回ら・ら・らスキー(親子ふれあいスキー教室)」が日光湯元スキー場で開催されました。当日は、小学生以上の親子を対象に市民33人が参加し、初心者から上級者まで幅広い年齢の参加者が、市の体育指導委員の指導でスキーを満喫。初心者でも教室初日の後半にはリフトに乗り、上から滑って来られるまでに上達していました。



印西市体育指導委員連絡協議会ではさまざまな軽スポーツの普及活動に励んでいます。今年度は、3月に完成した松山下公園総合体育館で、ニュースポーツ教室(ショートテニス教室など)の開催を予定しています。たくさんのご参加をお待ちしています。詳細は、広報紙・ポスター・チラシなどでご確認ください。園スポーツ振興課振興班(☎④8417)。

市民憲章等検討委員会 を設置

このたび、平成22年3月23日に印西市、印旛村および本荳村が合併して、新「印西市」が誕生しました。今回の合併協議の中で、市民憲章については「印西市の市民憲章を基本に新市において定める」という調整方針が出されました。また、市の花や市の木についても、旧印旛村や旧本荳村においても制定されていたことから、「新市において調整する」として調整が図られました。

市では、これらの協議結果を踏まえて、市民憲章、市の花および市の木については市民憲章等検討委員会を設置して検討していきます。

市民憲章等検討委員会 委員を募集

検討委員会の設置に当たり、委員の募集を行います。
●対象：平成22年4月1日現在で20歳以上の市内在住の人。

「Asia Pacific Regional Innovative Education Forum」で松本博幸指導主事が受賞

ICT(情報通信技術)による教育の向上に寄与するため、アジア太平洋地域の約15カ国から約75人の学校教育関係者がシンガポールに集まり、学校・地域による教育改革と、ICT活用実践を通じた教育向上の取り組みについて発表を行う「Asia Pacific Regional Innovative Education Forum」で、市教育センターの松本博幸指導主事が発表を行い、日本人の中の最優秀賞である「Winner Of Japan」を受賞しました。



松本指導主事は、学校と地域との協同学習の実践(子どもたちのNPO団体への活動参加、情報発信など)について発表。「今後も市内の各学校で、子どもたちが、基礎・基本の習得とそれを活用する力、探究する力を伸ばすための手段として、ICTを活用していくことができるようにしたい」と抱負を述べました。

- 募集人数：3人
- 任期：委嘱の日から検討事項終了まで。
- 委員報酬：謝礼として1日につき7,500円を支給。
- 申し込み：5月31日(月)までに、必要事項を記入した応募用紙(市役所総務課、各公民館、各支所・各出張所に用意)市ホームページからもダウンロード可)とレポートを左記まで郵送、FAX、Eメールまたは持参。
- ※レポートは、「市民憲章」または「市の花・木」の意義、役割、利活用などについてをテーマに800字以内。A4判であれば書式は自由。
- 選考方法：原則書類審査で選考。必要に応じて、面接を実施。選考結果は応募者全員に通知します。
- 〒270-1396 印西市大森2364-2
011396 印西市大森2364-2
6412・☎内線435・437・FAX④7242・メールアドレス sounnuka@ml.city.inzai.chiba.jp